6 デジタル環境整備計画

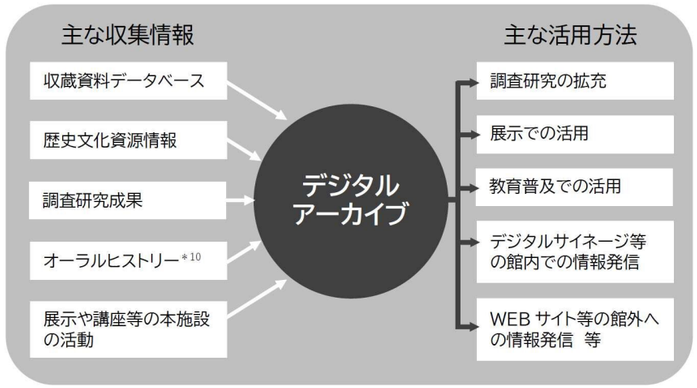
◆基本理念

・収集・蓄積した資料や情報を効果的に管理し、積極的に活用するため、デジタルアーカイブを構築します。

・デジタルアーカイブの構築・運用に際しては、市民や学校団体等と連携して取り組みます。

・WEB サイトを開設し、本施設に関する基礎情報やデジタルアーカイブ等のコンテンツを掲載し、本施設での活動を世界に向け発信。デジタルアーカイブは、世界中からアクセスできるよう、可能な限りオープンデータ*9化し、収蔵資料の活用を促進します。

【デジタルアーカイブの全体イメージ図】



◆整備プロセス

［デジタルアーカイブ］
STEP 1　収蔵資料データの整理
STEP 2　詳細設計
STEP 3　構築
STEP 4　運用･活用

［情報発信システム］
STEP 1　広報計画の策定
STEP 2　準備段階の情報発信
STEP 3　WEB サイトの構築・運営

＊9 オープンデータ：機械判読に適したデータ形式により公開されたデータで、二次利用が可能な利用ルールが設定されているもの
＊10 オーラルヒストリー：歴史研究のために関係者から話を直接聞き取り、記録としてまとめた資料

7 管理運営計画

本施設の基本理念の実現に向けた活発な事業展開を図るとともに、効率的な維持管理を実現するため、さまざまな管理運営方式を比較検討しながら、最適な運営体制の構築を目指します。

◆管理運営にあたっての留意点

市民との協同	利用者サービス	広報
・市民団体等も含め、幅広い市民との協働を推進する体制を構築します。 ・施設を超えた新たな活動を展開するための人材募集と育成を行います。 ・民間企業や市内外の公立・私立博物館、大学・研究機関等の様々な主体と連携し、事業活動を推進します。	・飲食施設やミュージアムショップにて、郷土料理や地場産品を取り入れたメニューや商品の提供を積極的に推進します。 ・多様な人々が利用しやすい施設を目指し、あらゆる面においてインクルーシブ＊11 なデザインを実現します。 ・必要に応じた介助や展示解説を受けられる仕組みを構築するほか、触れる展示等も積極的に導入し、誰もが楽しみながら学べるような施設整備を進めます。	・様々な主体と連携しながら、持続的に魅力を発信します。 ・新たに構築するデジタルアーカイブを活用し、WEB サイト等により、いつでも利用しやすいデジタルコンテンツを展開します。

＊11 インクルーシブ：「包摂的な」を意味する言葉で、さまざまな背景を持つあらゆる人が排除されないことを指す

8 事業推進計画

市が設置して直営する従来方式のほか、市が資金を調達し、発注を受けた民間事業者が施設の設計・工事・維持管理・運営を一括で行う方式や、民間事業者が資金を調達し、施設の設計・工事・維持管理・運営を一括で行う方式等が想定されます。

印西市教育委員会教育部生涯学習課
〒270-1396　千葉県印西市大森 2364-2　電話：0476-33-4714

（仮称）印西市歴史文化施設基本計画［概要版］

令和 6 年 3 月

1 計画の背景

印西市には、豊かな自然環境と、風土に根ざした暮らしを伝える多くの歴史文化資源＊1があります。市村合併や千葉ニュータウン整備による人口流入、近年の企業進出等により、多様な歴史・文化的背景を持つ人々が暮らすまちへと発展してきました。今後、地域の特徴を活かしながら新たな時代のまちづくりを行うためには、歴史文化資源を着実に継承するとともに、未来を担う次世代に向けて、印西市の魅力を伝えていくことが重要です。しかし、既存の施設や機能では、市民や来訪者が印西市の歴史・文化を体系的に学ぶことが困難な状況にあります。

そこで印西市の上位計画･関連計画に基づき、印旛歴史民俗資料館、木下交流の杜歴史資料センター、印旛医科器械歴史資料館の機能を集約するとともに、市内に分散配置されている収蔵資料を一元的に管理するため、新たな施設として（仮称）印西市歴史文化施設を整備します。

＊1 歴史文化資源：指定・登録を受けた「文化財」に限らず、地域に存在する有形・無形の文化財や民話、伝承、伝統行事、祭り、食、人等、地域における人々の営みにより形成されたもの

2 （仮称）印西市歴史文化施設の基本方針

◆基本理念

水と台地に育まれた郷土の歴史・文化と人をつなぎ、
印西の未来をひらく交流拠点

～いんざい未来創造ミュージアム～

◆事業活動方針

学ぶ	楽しむ	輝く
・市民とともに印西市の魅力となる歴史・文化の掘り起こしを行います。 ・未来の市民に向けて、印西市の宝である歴史･文化を守り、確実に継承します。 ・市民が自ら印西市の歴史･文化について学ぶ機会を創出します。	・市民や来訪者、子どもから大人まで、印西市の歴史・文化に触れ、魅力を体感する機会を創出します。 ・多様な人々が、印西市の歴史･文化を通して交流する機会やつながるきっかけを創出します。	・印西市の歴史・文化を通して、市民が生き生きと活動する機会を創出します。 ・歴史・文化を印西市の魅力として、市内外、国内外へ広く発信します。

◆事業活動の考え方

事業活動方針に基づき、６つの事業活動を展開します。

A　であい・交流
～交流・つながるきっかけの創出～

B　収集・保存
～歴史文化資源の蓄積・継承～

C　調査・研究
～歴史・文化の魅力の掘り起こし～

D　展示・公開
～歴史・文化への入口～

E　学習・創造支援
～歴史・文化の学び・楽しみ～

F　情報ハブ＊2・連携
～歴史・文化のネットワーク～

＊2 情報ハブ：「ハブ」は「中心・拠点」の意味。情報通信ネットワークが整備され、多くの情報が集まり発信される情報の拠点のこと

3 事業活動計画

A であい・交流　～交流・つながるきっかけの創出～

・子どもから高齢者まで幅広い世代の人々が気軽に訪れ、印西市の魅力や本施設の活動に触れることができる場を提供します。

・幼い頃から楽しみながら印西市の歴史・文化に親しむ機会や、多様な市民や来訪者の交流を創出できる機会を提供します。

獅子舞の実演イメージ

地場産品販売イベントのイメージ

B 収集・保存　～歴史文化資源の蓄積・継承～

・印西市の歴史・文化に関する調査研究や展示に必要な資料を、体系的かつ継続的に収集し、適切に保存します。

・貴重な資料を未来に継承するため、資料の特性に応じた保存環境と、将来的な収集も踏まえた十分な規模の収蔵空間を確保します。

C 調査・研究　～歴史・文化の魅力の掘り起こし～

・市民アイデンティティ*3の確立に寄与するため、幅広い視点から印西市の歴史・文化に関する調査・研究を行い、印西市の価値や魅力を明らかにします。

D 展示・公開　～歴史・文化への入口～

・親しみやすい常設展示、印西市への興味・関心を高める企画展示、体験を通して理解を深める屋外展示等、多様な体験を通して印西市の歴史・文化を紹介します。

・国宝・重要文化財の公開に必要な設備や管理体制を備えた環境を構築します。

・来館時のみならず、インターネットを活用して施設内外からいつでも印西市の歴史・文化を知ることができる環境を整備します。

E 学習・創造支援　～歴史・文化の学び・楽しみ～

・子どもから高齢者まで多様な人々が印西市の歴史・文化に親しみ、理解を深めるための学習機会を提供します。

・印西市の歴史・文化に関する研究活動を行う個人や団体に対して、活動の場や調査研究に関する情報を提供します。

・収蔵資料や調査研究成果に、施設内外からアクセスできる環境を整備します。

街歩きイベントのイメージ

・個人や団体による調査研究の成果を発表するための機会を提供します。

F 情報ハブ・連携　～歴史・文化のネットワーク～

・収蔵資料データベース*4を核とし、印西市の歴史・文化に関わる情報を収集・蓄積・編集して一元的に管理するデジタルアーカイブ*5を構築し、新たな活動を生み出そうとする個人や団体等、様々な人々へ情報を発信します。

・まだ広く知られていない市内の歴史文化資源を掘り起こすため、誰もが気軽に情報提供できる仕組みを構築します。

＊3 アイデンティティ：個性、国・民族・組織等への帰属意識
＊4 データベース：データを集約し、保管・管理・検索するためのシステム
＊5 デジタルアーカイブ：情報をデジタル技術により保管・管理・検索するためのシステム

4 施設整備計画

◆基本方針

1	多様な人々が訪れ、利用しやすい施設を整備
2	印西市の魅力となるランドマーク*6性を備えた施設
3	国宝・重要文化財の公開に対応した施設
4	歴史文化資料を安全に収蔵・保管できる施設
5	本施設の活動への参画を促進するため、活動が見える施設
6	屋外空間も活用し、様々な体験を提供できる施設
7	環境への負荷を低減した施設

◆立地条件

a. 貴重な歴史文化資源を後世に継承するため、災害リスクが低いこと

b. より多くの市民や来訪者に利用してもらえるよう、交通アクセスが良いこと

c. 事業活動計画の実現に必要な延床面積を確保できる十分な広さを有した敷地であること

◆必要となる諸室

部門名	室名
収蔵	収蔵庫（前室含む）、資料保管庫Ⅰ（歴史的公文書、図書・報告書等）、資料保管庫Ⅱ（民俗資料）、資料保管庫Ⅲ（考古資料、貝化石）、一時保管庫（前室含む）、資料整理室、荷解室、搬入口・トラックヤード
調査研究	書庫、資料閲覧室、市史編さん室
展示	常設展示室、企画展示室、展示準備室
教育普及	ワークショップ・ルーム、多目的室、ミュージアム・コミュニケーター*7・ルーム
管理運営	応接室、会議室、事務・学芸員室
利用者サービス	エントランスホール
その他	トイレ、廊下、階段、機械室、警備室、管理諸室　等

屋外	大型資料整理スペース、屋外展示、屋外広場

＊6 ランドマーク：その地域を象徴し、目印となるものや建築
＊7 ミュージアム・コミュニケーター：来館者との対話やコミュニケーションを図りながら、来館者と資料や展示をつなぎ、来館者の興味を高め理解を深める助けを行う役割を担う人材

5 展示計画

◆基本方針

1	印西市の歴史・文化の全体像を把握できる展示
2	印西市に対する理解を深め、誇りと愛着を感じることのできる展示
3	いつ訪れても新たな学びや発見につながる更新性の高い展示
4	子どもたちの学習に対応した展示
5	アクセシビリティ*8に配慮した展示

＊8 アクセシビリティ：サービス等の利用のしやすさ

◆展示の全体構成

本施設では、常設展示、特別展示・企画展示、屋外展示を展開し、多様な体験を提供します。

特別展示・企画展示

・収蔵資料等を活用し、印西市にゆかりのある事象や人物、美術工芸作品等、多様なテーマで歴史・文化を掘り下げる展示

・印西市の歴史・文化への理解を深めるため、国内外を広く知る機会となるような巡回展

・国宝や重要文化財の公開に必要な展示設備

屋外展示

・里山のくらしの部分再現や、農機具等による体験型展示

常設展示

・歴史や文化を総合的に扱い、印西市の原始・古代から現代までの時代の流れを概観できるとともに、それぞれの時代の様子を感じられる展示

メインテーマ：水と台地に育まれた印西の歴史と文化

コーナー構成：導入展示、テーマ展示、体験シアター

導入展示イメージ